



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成28年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,182	3.8	711	34.4	711	22.7	475	31.6
27年3月期第3四半期	15,593	16.6	529	423.6	579	351.9	361	487.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	279.33	—
27年3月期第3四半期	212.23	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	10,879	4,070	37.4	2,389.04
27年3月期	9,810	3,737	38.1	2,193.87

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 4,070百万円 27年3月期 3,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	83.00	83.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	85.00	85.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	0.1	720	1.9	720	△7.2	480	2.3	281.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	1,704,267 株	27年3月期	1,704,267 株
28年3月期3Q	534 株	27年3月期	484 株
28年3月期3Q	1,703,748 株	27年3月期3Q	1,703,801 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は売上高16,182,580千円(前年同期比3.8%増)、営業利益711,769千円(前年同期比34.4%増)、経常利益711,510千円(前年同期比22.7%増)、四半期純利益475,905千円(前年同期比31.6%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は4,810,993千円(前年同期比7.6%増)となりました。民生関連でのスマートフォンやタブレット端末に向けてコネクタ・端子類の旺盛な需給が続いており、当初の見込みを上回る水準での稼働が続いています。一方で、自動車や産業機器向けでは中国経済の減速などもあり、計画を下回る弱含みの推移となっております。その結果、当該セグメントの経常利益は516,415千円(前年同期比14.5%増)となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、売上高は11,371,586千円(前年同期比2.3%増)となりました。主力の設備用電線など建設・電販向けだけでなく、平角線・異形線加工も若干ながら計画を上回る堅調な推移となっております。また、原価低減・経費削減にも引き続き取り組んでおり、その結果、当該セグメントの経常利益は195,095千円(前年同期比51.5%増)となりました。

売上高

単位(千円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	4,472,600	28.7%	4,810,993	29.7%	7.6%
電気機能線材事業	11,120,601	71.3%	11,371,586	70.3%	2.3%
合計	15,593,201	100.0%	16,182,580	100.0%	3.8%

加工売上高

単位(千円)

	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	2,161,972	72.9%	2,449,450	73.4%	13.3%
電気機能線材事業	802,172	27.1%	888,429	26.6%	10.8%
合計	2,964,144	100.0%	3,337,880	100.0%	12.6%

(注) 当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は10,879,181千円となり、前事業年度末に比べ1,068,253千円増加しました。これは現金及び預金が720,477千円、機械及び装置(純額)が188,680千円、建設仮勘定が405,349千円増加したことと、受取手形及び売掛金が190,173千円減少したことなどによるものです。

負債合計は6,808,894千円となり、前事業年度末に比べ735,840千円増加しました。これは買掛金が572,264千円、1年内返済予定のものも含めた長期借入金が309,676千円増加したことと、未払法人税等が195,321千円減少したことなどによるものです。

純資産は4,070,287千円となり、前事業年度末に比べ332,413千円増加しました。これは、当第3四半期累計期間の四半期純利益と剰余金の配当などを反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて720,477千円増加し、981,757千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,356,138千円の収入(前年同四半期累計期間は897,988千円の収入)となりました。主な収入は税引前四半期純利益710,354千円、減価償却費249,356千円、売上債権の減少額190,173千円、仕入債務の増加額572,264千円であり、主な支出は法人税等の支払額419,107千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出803,112千円などにより803,874千円の支出(前年同四半期累計期間は211,234千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入600,000千円のほか、長期借入金の返済による支出290,324千円、配当金の支払額141,269千円などにより168,213千円の収入(前年同四半期累計期間は2,559千円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

材料比率の高い電気機能線材事業での銅価格下落により売上高が前回予測を下回るが、利益面では当第3四半期累計期間において、電子機能材事業が好調に推移しました。特にスマートフォンやタブレット向けなどの民生関連では旺盛な需要が前事業年度から続いており、弱含みで推移している自動車や産業機器関連をカバーし、全体の業績をけん引しています。しかしながら、大手のスマートフォンの減産をはじめ、年度末に向けて受注・生産のペースが落ち込む見通しに加え、開発投資の継続や設備投資に伴う減価償却負担の増加など総じて第4四半期においては売上高と利益の双方で積み上げが難しいと予想されます。

当第3四半期累計期間の業績と第4四半期の見通しをふまえ、業績予想の修正を行うこととしました。詳細については、平成28年1月29日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,280	981,757
受取手形及び売掛金	5,232,403	5,042,229
仕掛品	347,771	253,113
原材料及び貯蔵品	408,304	400,989
繰延税金資産	33,883	19,023
その他	15,593	36,357
流動資産合計	6,299,236	6,733,470
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	748,883	713,617
機械及び装置(純額)	575,574	764,254
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	7,971	413,320
その他(純額)	106,868	180,752
有形固定資産合計	3,303,278	3,935,926
無形固定資産	9,864	8,857
投資その他の資産		
投資有価証券	37,785	35,966
繰延税金資産	145,525	151,366
その他	15,237	13,594
投資その他の資産合計	198,547	200,927
固定資産合計	3,511,691	4,145,711
資産合計	9,810,927	10,879,181

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,209,824	3,782,089
1年内返済予定の長期借入金	361,986	373,412
未払法人税等	287,432	92,111
役員賞与引当金	9,200	-
その他	361,168	401,558
流動負債合計	4,229,611	4,649,171
固定負債		
長期借入金	1,363,503	1,661,753
退職給付引当金	408,223	426,254
その他	71,715	71,715
固定負債合計	1,843,441	2,159,722
負債合計	6,073,053	6,808,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	2,217,587	2,552,079
自己株式	△1,055	△1,247
株主資本合計	3,731,153	4,065,452
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,721	4,835
評価・換算差額等合計	6,721	4,835
純資産合計	3,737,874	4,070,287
負債純資産合計	9,810,927	10,879,181

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	15,593,201	16,182,580
売上原価	14,168,731	14,559,313
売上総利益	1,424,470	1,623,266
販売費及び一般管理費	894,690	911,497
営業利益	529,779	711,769
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	579	1,122
助成金収入	1,050	1,052
受取賃貸料	3,231	3,231
スクラップ売却益	52,085	2,536
その他	7,212	4,799
営業外収益合計	64,167	12,746
営業外費用		
支払利息	8,161	6,958
売上割引	4,264	4,412
賃貸費用	1,701	1,611
その他	-	21
営業外費用合計	14,127	13,004
経常利益	579,819	711,510
特別利益		
固定資産売却益	179	239
特別利益合計	179	239
特別損失		
固定資産除却損	23,149	1,396
特別損失合計	23,149	1,396
税引前四半期純利益	556,850	710,354
法人税、住民税及び事業税	218,847	224,536
法人税等調整額	△23,594	9,912
法人税等合計	195,252	234,449
四半期純利益	361,597	475,905

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	556,850	710,354
減価償却費	252,284	249,356
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△9,200
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	28,311	18,030
受取利息及び受取配当金	△588	△1,126
支払利息	8,161	6,958
有形固定資産売却損益 (△は益)	△179	△239
固定資産除却損	23,149	1,396
売上債権の増減額 (△は増加)	△853,131	190,173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△383,011	101,974
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,343,980	572,264
その他	△22,544	△60,816
小計	953,282	1,779,125
利息及び配当金の受取額	588	1,126
利息の支払額	△8,198	△6,949
法人税等の支払額	△48,175	△419,107
その他	490	1,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	897,988	1,356,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△943	△961
有形固定資産の取得による支出	△210,707	△803,112
有形固定資産の売却による収入	180	240
無形固定資産の取得による支出	—	△600
その他	237	558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,234	△803,874
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△173,440	△290,324
自己株式の取得による支出	△106	△192
配当金の支払額	△29,013	△141,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,559	168,213
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	684,193	720,477
現金及び現金同等物の期首残高	246,845	261,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	931,039	981,757

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	4,472,600	11,120,601	15,593,201
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,472,600	11,120,601	15,593,201
セグメント利益	451,004	128,815	579,819

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	電子機能材事業	電気機能線材事業	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	4,810,993	11,371,586	16,182,580
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,810,993	11,371,586	16,182,580
セグメント利益	516,415	195,095	711,510

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。